

チームエッフェガーラ

津村 知明

レースレポート

2010年3月28日

FESTICUP第1戦

SSクラス(参加8台)

CIRCUIT : FESTIKA

フレーム : birel RX31SE

エンジン : YAMAHA KT100SD

タイヤ : プリジストン SL07

エンジニア: 加藤 真(レーシングサービス エッフェガーラ)

メカニック: 田口 剛(チーム エッフェガーラ)

◆レース結果

TT 4位 (32.887)

予選 2位

決勝 5位

◆シリーズランキング

5位 (4 ポイント)

第1戦終了時点

今回のレースは、驚きの連続でした！！

オフの間、何をしてもどんなことをしても 超遅かったのに
前日は何とTOP TIME！！

ドンドンタイムアップしていく状況に もう笑いが止まりません^^
他コースでレースが続いたため、FESTIKAは約1ヶ月振りの走行だったが、
その間に一体何が起こったというのか??

前回走行からの違いは、

・エンジンをOHしたから??

・もてぎ優勝で自信がついた??

・今日の路面が自分に合ってた?? (気温が高く、グリップする路面だったので)



◆前日とは一転して レース日は真冬の寒さに。コンディションがまるっきり違う・・・

日中気温が5℃にも満たず、超寒い。吐く息も白いし、まさに観客泣かせの一日でした。

そんな時、ここFESTIKAのコンディションは一気に真冬モードになる。

前日のぼかぼか路面の事は一切忘れて、マシンセットも頭の中も大幅に切り替える必要があった。

TTでは、その切り替えに少々手間取り4位。そして、ミスも響いて3位を逃してしまった。

予選では TTの反省を踏まえて、マシンセット・走り方も工夫して挑み 2位までジャンプアップ。

トップに迫る勢いで 充分な手ごたえを感じ決勝を迎える。

◆焼き付いたハズなのに・・・

決勝ローリング中のホームストレートで異変が・・・ 何とエンジンが焼き付き そのままグラベルへ突っ込む・・・
「あ～終わった・・・」と呆然となったが、マシンから降りてタイヤを回していたところ、何故か回るようになった!?

ん! ? と思い もしかしたらと押しがけてみると エンジンもかかる! ? 訳が分からない! !

とりかく隊列に追いつき(フェスティカでは待ってくれるので) 自分の順位に戻れて スタートがきれた。

まさに奇跡が起こった。

スタートは順調に2位をキープ。エンジンは特に違和感も無く回っている。とにかくトップに食らいついて行けとばかりに走ったが、ペースが全然上がらん・・・

それどころか、真後ろには3番手が迫っている。どうにか抑えて走っていたが とうとう4LAPを残した5コーナーでインに入られが 頑張り過ぎてダートトライアル状態。(後に、もの凄く後悔したのは言うまでもありません)

結局、2位を死守するところか 5位まで落ちてチェッカー。いろいろな事が起こったレースウィークが終わりました。

◆レースを終えて

課題の残るレースではありましたが、去年の惨敗から考えれば 今年はトップ争いができる位置にまでこれた事がまず嬉しかったです。それにはオフの間 熱くご指導して下さいました宇都木さんのおかげです。

走り方やセットについては かなり良いところまで来ていると思いますが、

あと足りないのはレースでの駆け引き (特にクロスラインを使ったバトルの仕方) が下手だと思います。

そして、ちょっとした事で冷静さを失ってしまう部分があるので、メンタル面でも修行が足りないと感じました。

その辺りを克服して 次回は『格好いいレース』をお見せできるように頑張ります^^

応援、フォローして下さいました方々、ありがとう御座いました。